

環境戦略・研究開発戦略説明会

---

# 知的財産戦略

## 価値向上を牽引する知財活動

2021年2月25日

株式会社日立製作所  
知的財産本部長

戸田 裕二

1

## グローバルに知財を強化

- ・日立ABBパワーグリッド、日立Astemoが日立グループに加わり、さらなる増強

2

## 環境関連の発明強化とビジネス機会の拡大

- ・環境価値と知財を紐づける「知財ライブラリ」で見える化し、社外へスケーリング

3

## 知財活動100周年。次の100年に向けて

- ・蓄積した知財ナレッジをビジネス成長と社会貢献に活用

# 知的財産戦略

---

## Contents

1. グローバルに知財を強化
2. 環境関連の発明強化とビジネス機会の拡大
3. 知財活動100周年。次の100年に向けて

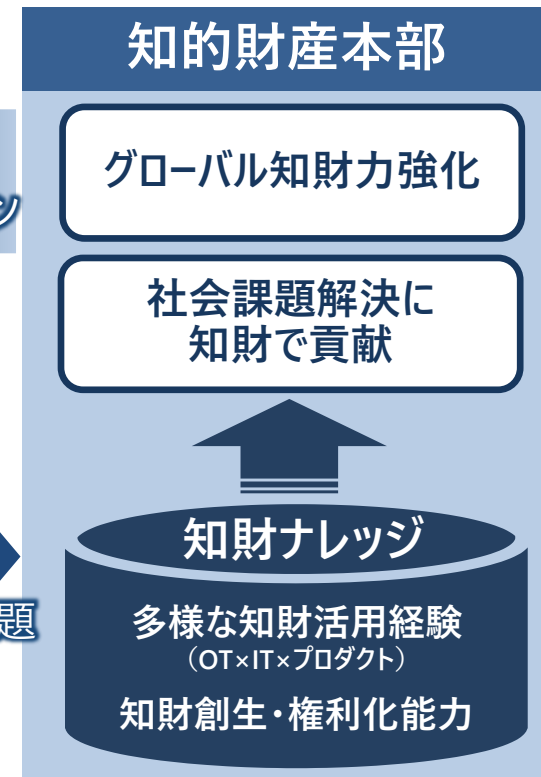
# 知的財産戦略

---

## Contents

1. グローバルに知財を強化
2. 環境関連の発明強化とビジネス機会の拡大
3. 知財活動100周年。次の100年に向けて

## 知的財産を活用して価値向上を牽引するグローバルリーダーになる



## 競争戦略・協創戦略・IP for societyの知財活動を推進

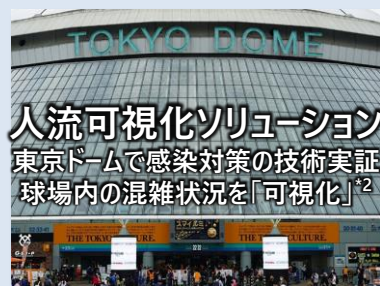
### 競争戦略

[IPの役割] - 競争力強化



### 協創戦略

[IPの役割] - パートナーシップ促進



### IP for society - 社会への貢献 -

[IPの役割] - 未来社会のデザイン



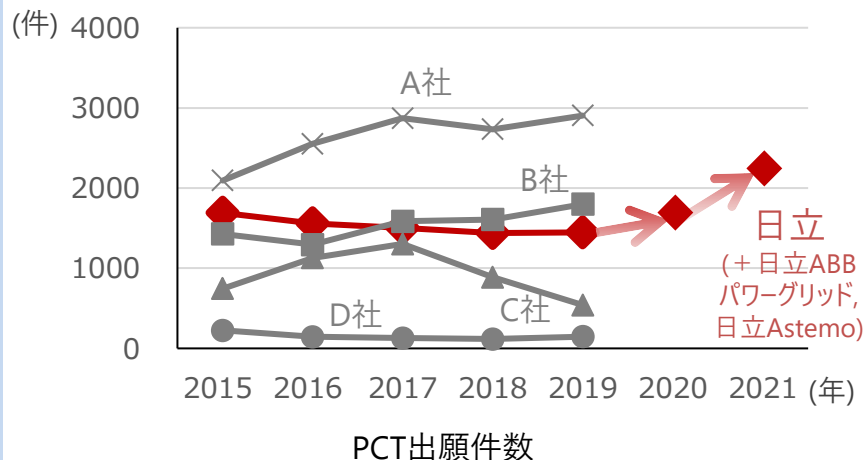
\*1 特許第6767353号 \*2 特許第6397581号 \*3 WIPO：世界知的所有権機関、WIPO GREEN：環境技術移転プラットフォーム

\*4 北海道岩見沢市で実証したプロジェクトにより特許を取得

# 1-3. グローバルに知財を強化(1)

国際特許出願(PCT出願)及びソリューション発明を強化し、社会イノベーション企業のグローバルリーダーへ

PCT出願：強化施策により、減少から増加へ

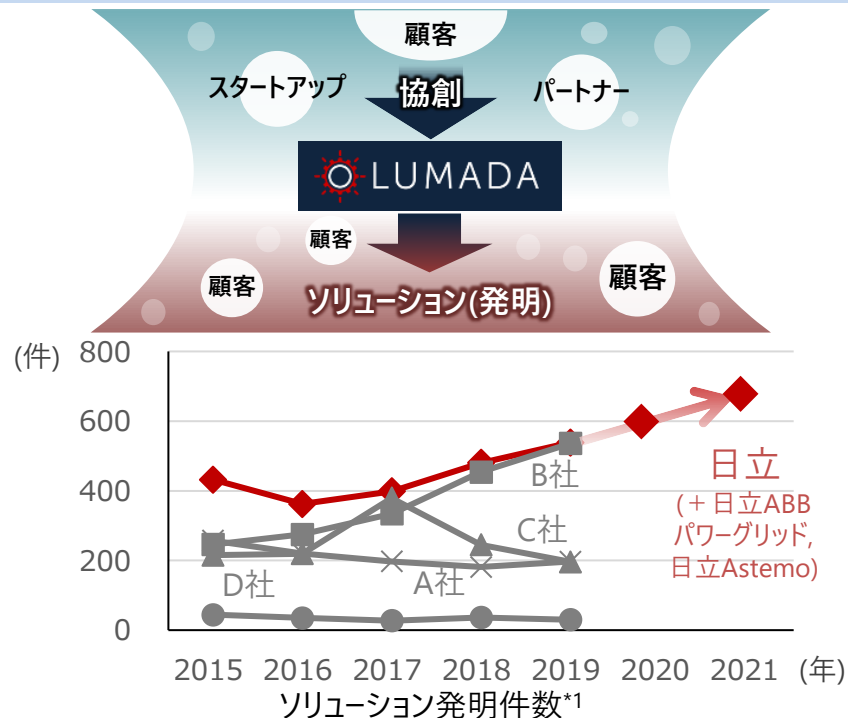


Top 100 グローバル・イノベーター 10年連続受賞

クラリベイト社より、クラリベイト社が保有する特許データを基に評価し、世界で最も革新的な企業・機関に贈られる

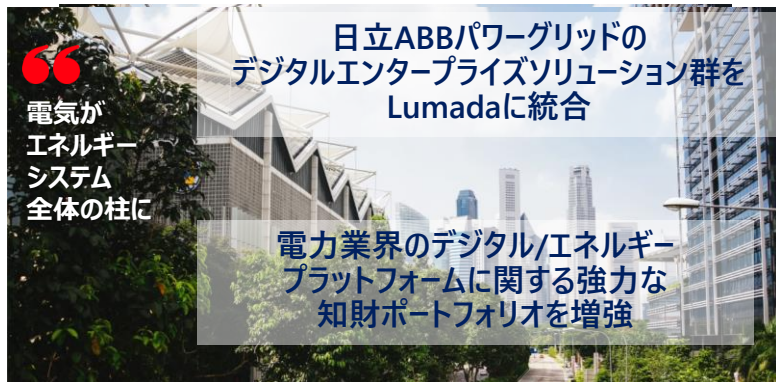
評価項目： **特許数** **グローバル性** **影響力**

ソリューション発明：量・質でグローバルNo.1へ



\*1 日立調査。日米欧特許出願公開件数。国際特許分類 (IPC) G06Q、G06F17、G06N等で検索。日立以外の件数は各社出願傾向から推測

## 日立ABBパワーグリッド、日立Astemoが日立グループに加わり、さらなる増強\*1



xEV・AD/ADAS・先進シャシー等  
の知財ポートフォリオを増強



等



等

\*1 日立ABBパワーグリッドは約10,000件、日立Astemoは約4,000件増強（いずれも世界に現存している特許及び特許出願の総数） \*2 欧州特許第3114802号、米国特許第10574480号、中国特許第106134133号 \*3 米国特許第9693476号 xEV：電動車 AD/ADAS：Autonomous Driving/Advanced Driver-Assistance Systems



# 知的財産戦略

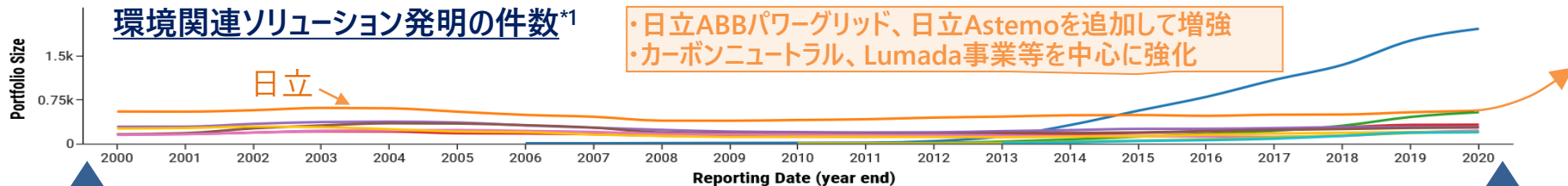
---

## Contents

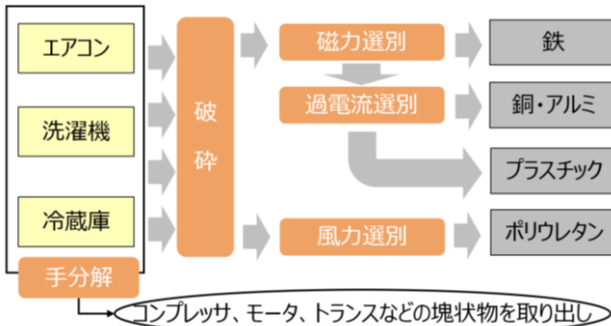
1. グローバルに知財を強化
2. 環境関連の発明強化とビジネス機会の拡大
3. 知財活動100周年。次の100年に向けて

# 2-1. 環境関連の発明強化とビジネス機会の拡大

## サーキュラーエコミーを意識し、価値起点の協創で、環境関連ソリューション発明を強化



### 家電リサイクル関連発明（1990年代～）



- ・家電リサイクル法に先駆け「手分解」「破碎・磁力選別」などに関する特許出願・権利化\*2
- ・東京エコリサイクルにて実施・台湾へ技術移転

### 価値起点で質の高いソリューション発明を創出



環境価値の向上

ソリューション発明創出  
(環境 × デジタル)

知財



発明例



製品の環境影響と、施設のエネルギー消費量を同時に評価\*3



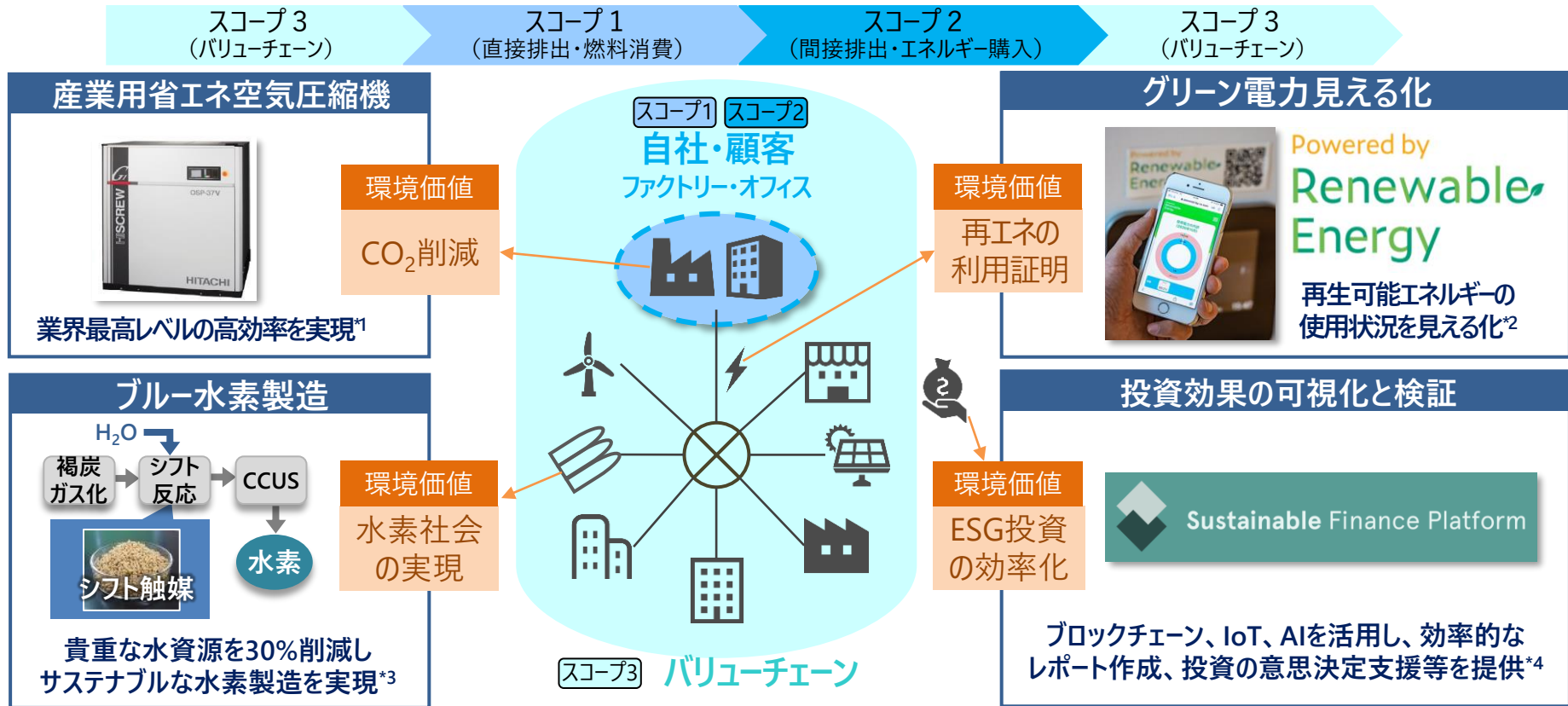
電力系統全体のCO<sub>2</sub>排出量を踏まえ、利用者の電気自動車等の充放電を制御\*4

\*1 LexisNexis社のPatentSightを用いて日立製作所知的財産本部が作成。「共通特許分類(CPC)がY02」かつ「国際特許分類(IPC)がG06Q」で検索

\*2 特許第3206586号、特許第3234939号等 \*3 特許第4160457号 \*4 米国特許第8330415号

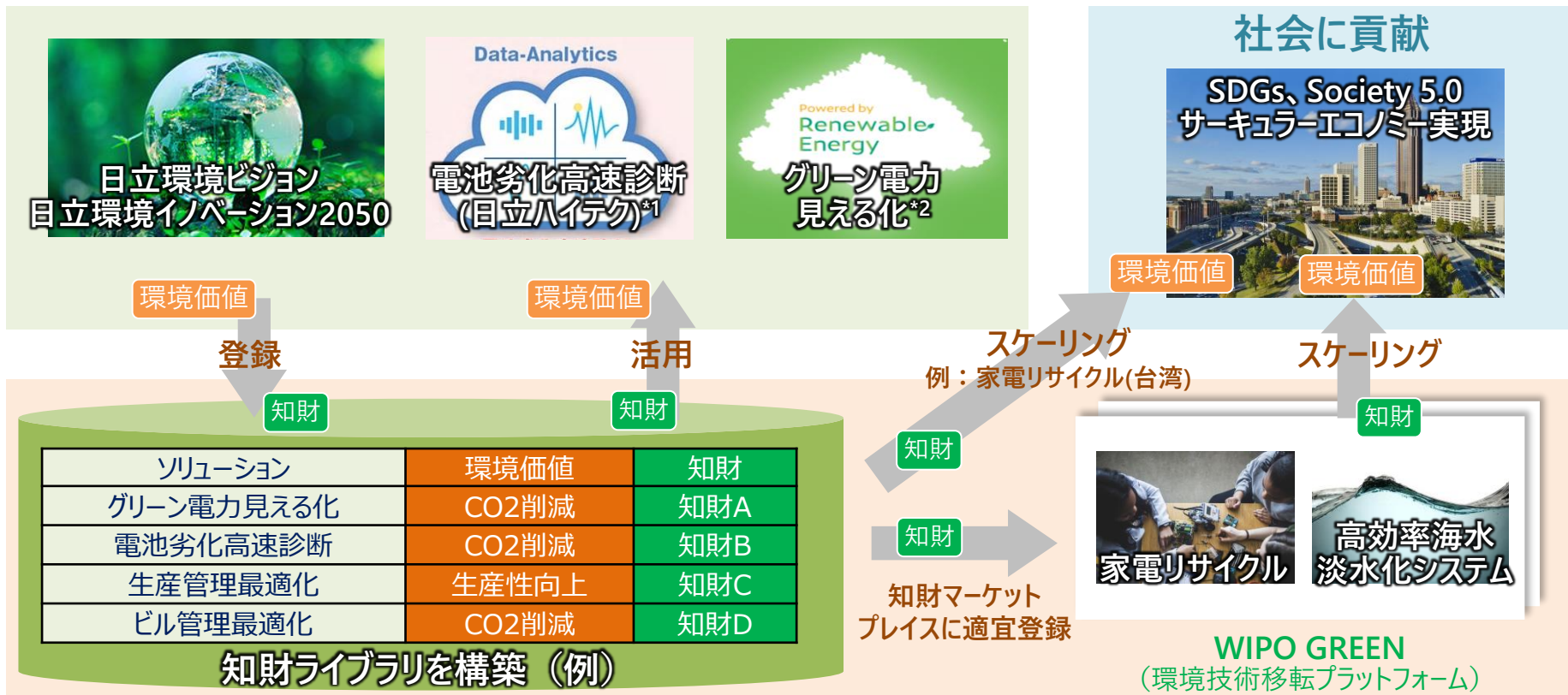
## 2-2. 環境価値起点のソリューション発明の例

### スコープ1,2,3に対応する、カーボンニュートラルに貢献する発明創生



\*1 特許第6767353号 \*2 特許出願2019-073173 \*3 特許第5535990号 \*4 EP出願19196341.2

## 環境価値と知財を紐づける「知財ライブラリ」で見える化し、社外へスケールング



\*1 PCT出願JP2020/028961 \*2 特許出願2019-073173

## 2-4. 知財を使ってグローバルエコシステムの形成にチャレンジ

IP for societyのコンセプトのもと、知財を触媒に、環境価値を向上するエコシステムを形成

### OSSコミュニティ

"Open Invention Network"  
TAC\*1として参画  
OSS保護対象化の追加を提言

### 国連機関



### アカデミア



### 国際標準化機関



### スタートアップ



\*1 TAC : Technical Advisory Council \*2 Agorize Japan株式会社と連携し開催 (<https://www.agorize.com/hitachi>)

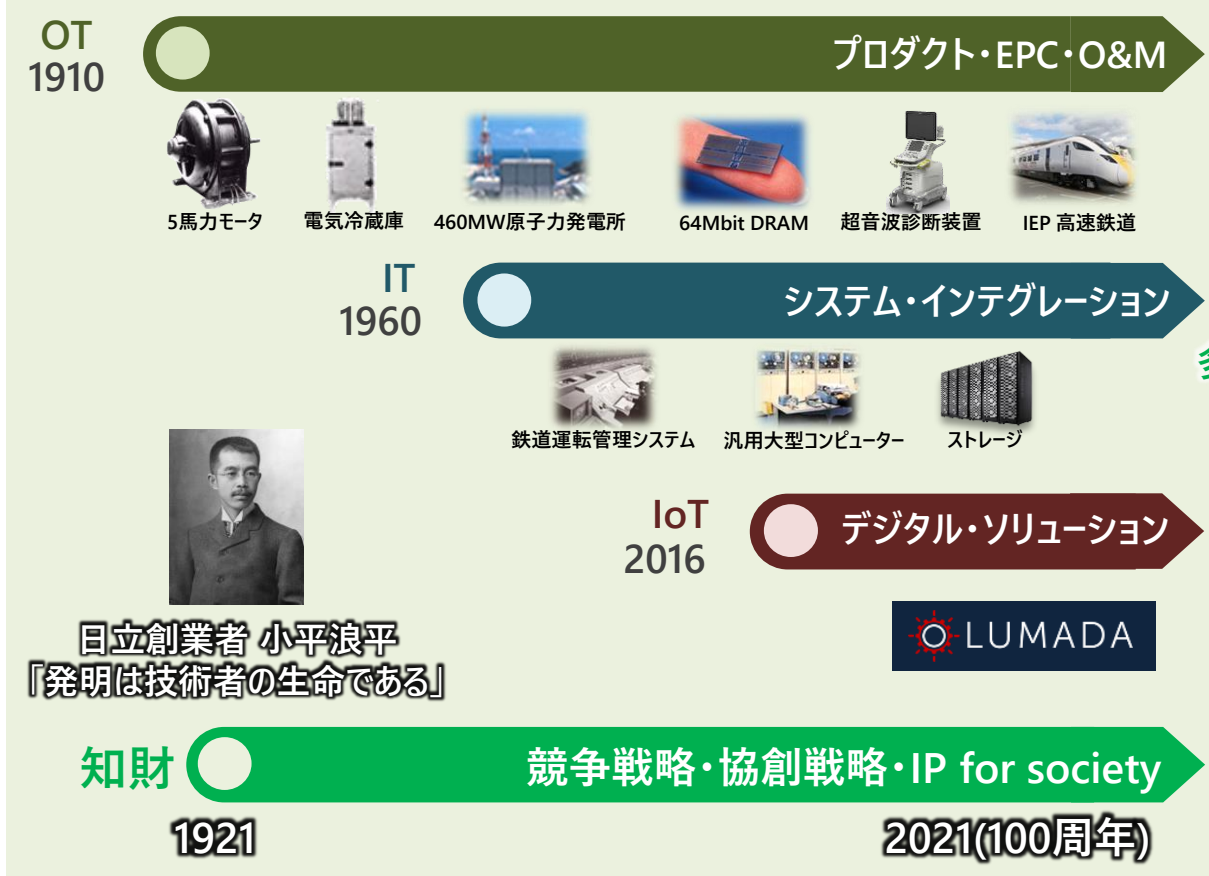
# 知的財産戦略

---

## Contents

1. グローバルに知財を強化
2. 環境関連の発明強化とビジネス機会の拡大
3. 知財活動100周年。次の100年に向けて

# 3-1. 知財活動100周年



次の100年  
に向けて

事業領域の変化・  
多様なビジネス課題に対応  
(OT×IT×プロダクト)

知財を使った様々な価値・  
ソリューションの創出を経験



# 「環境」「レジリエンス」「安心・安全」 価値向上を牽引する知財活動を通じて ビジネス成長と社会に貢献

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

Society 5.0





本資料における当社の今後の計画、見通し、戦略等の将来予想に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等の結果は見通しと大きく異なることがあります。その要因のうち、主なものは以下の通りです。

- ・COVID-19の流行による社会的・経済的影響の悪化
- ・主要市場における経済状況及び需要の急激な変動
- ・為替相場変動
- ・資金調達環境
- ・株式相場変動
- ・原材料・部品の不足及び価格の変動
- ・長期請負契約等における見積り、コストの変動及び契約の解除
- ・価格競争の激化
- ・人材の確保
- ・新技術を用いた製品の開発、タイムリーな市場投入、低コスト生産を実現する当社及び子会社の能力
- ・製品等の需給の変動
- ・製品等の需給、為替相場及び原材料価格の変動並びに原材料・部品の不足に対応する当社及び子会社の能力
- ・信用供与を行った取引先の財政状態
- ・社会イノベーション事業強化に係る戦略
- ・企業買収、事業の合併及び戦略的提携の実施並びにこれらに関連する費用の発生
- ・事業再構築のための施策の実施
- ・主要市場・事業拠点(特に日本、アジア、米国及び欧州)における政治・社会状況及び貿易規制等各種規制
- ・持分法適用会社への投資に係る損失
- ・コスト構造改革施策の実施
- ・地震・津波等の自然災害、気候変動、感染症の流行及びテロ・紛争等による政治的・社会的混乱
- ・当社、子会社又は持分法適用会社に対する訴訟その他の法的手続
- ・製品やサービスに関する欠陥・瑕疵等
- ・情報システムへの依存及び機密情報の管理
- ・自社の知的財産の保護及び他社の知的財産の利用の確保
- ・退職給付に係る負債の算定における見積り

*Hitachi Social Innovation is*

**POWERING GOOD**

世界を輝かせよう。

**HITACHI**  
Inspire the Next 